

\\こんなことしたよ\\



☎ 小郡市子育て支援センター
73-5041
✉ kosodateashien5041@suo.bbiq.jp
市ホームページ(ホーム▶子育て教育▶遊ぶ▶小郡市子育て支援センター)

小郡市子育て支援センターは、未就園のお子さんとその家族のために、さまざまな事業を行っています。

新年度が始まりました。小郡市子育て支援センターは、市内のあちこちに出かけて子育て仲間作りのお手伝いをしています。今年度も、「のびのび教室」や「のびのびオープンルーム」などでたくさんの親子に出会えることを楽しみにしています。



のびのび教室



のびのび広場



のびのびキッズルーム

のびのび教室

第8回『記念に残る製作』(カレンダー作り)

2月13日(火)
人権教育啓発センター

参加者の声

- 子どもの成長を作品として残せるのでとてもうれしいです。ふれあい遊びで笑顔が見られてよかったです
- 一緒にハサミやのりを使い楽しく作ることができました

4月からの第1回ののびのび教室『シール帳作り』では、毎回使う自分だけのシール帳を作ります。遊びにきてくださいね!!



のびのび広場

『たくさんあそんでふれあってうちの子最高!』

2月1日(木)
あすてらす多目的ホール
講師 熊丸みつ子さん

参加者の声

- 熊丸先生のお話を聞くと、心の栄養をもらったようにパワーがわきます
- 今しかない時間を日々大切に、なるべく子どもの前では笑顔でいられるよう過ごしていきたいと強く思いました
- 子どもと遊びながらも大切なことをたくさん教えていただいて、来て良かったです。心が楽になりました

のびのびキッズルーム

『リトミックであそぼう!』

2月9日(金)
文化会館小ホール
講師 前原美津子さん

参加者の声

- 「生の音楽」と「動き」の楽しさ、プラス「ストーリー」で、あつという間の1時間でした
- 歌と踊りが大好きなので、ずっと笑顔で参加できました。たくさんの工夫があつて親子で楽しめました
- タンバリンや鈴など、普段触れられない楽器に触れられてよかったです

※平成30年度の詳しい日程は、本号に折り込みの『のびのび通信4月号(オレンジA4版)』をご覧ください

「子どもが病気になるた!」
「でもどうしても
仕事を休めない!」



そんなときは病児・病後児保育をご利用ください!

●問合せ先 子育て支援課子育て支援係 ☎72-2111内線472、473

子どもが病気になってしまったけれども、どうしても外せない仕事がある。近くに看病を頼める人もいない…。こんな困った経験はありませんか?

病児・病後児保育とは、通園、通学時期の子どもが病気やけがのとき、保護者の仕事などの都合で、家庭で養育できない場合に一時的に預かるサービスです。



市内2カ所で実施

市内では、以下の2カ所の施設でサービスを行っています。(月～土曜日(日・祝日・盆・年末年始は休園))

- こぐま子どもの家(こぐま学園内)
小郡市大板井1143-1 ☎72-7221
- まどかチャイルドケアセンター(まどかファミリークリニック上)
小郡市あすみ1-40 ☎65-9096

利用できる人

病気または病気回復期の、0歳～小学校6年生
※0歳児の保育は、「こぐま子どもの家」では生後3か月から、「まどかチャイルドケアセンター」では生後10か月から受け入れます
※症状によってはお預かりできない場合があります

詳細は、市ホームページ(ホーム▶子育て・教育▶子育て支援▶病児・病後児保育)をご確認ください

登録と予約が必要です

サービスを利用するには、事前登録が必要です。利用前に各施設で登録を済ませてください。登録後は、利用日時を電話で予約してください。

詳しい登録方法などは、各施設にお問い合わせください。

利用料

1日(午前8時30分～午後4時)
0歳～2歳 2,000円
3歳～小学校6年生 1,000円
※延長保育は1時間300円
※延長時間帯や土曜の開所時間は施設により異なりますので、各施設にお問い合わせください